

地域社会の期待に応えるべく、会員増強で組織の強化を

～平成26年度事業計画・予算が決まりました～

3月17日、徳島市のあわぎんホールにおいて運営委員会及び理事会を開催しました。

(運営委員会)

運営委員会は公益財団法人への移行に伴い、少数制となった理事会や評議員会とは別に、多くの会員の意見を聴取する機関として設置されました。当日は年度末何かと忙しい時期ではありましたが、8割を超える47名に参加いただきました。今回の主テーマは「会員増強」、はじめに事務局から全老連の会員増強策「老人クラブ『100万人会員増強』」



について、政策委員会におけるこれまでの経緯や内容を説明、あわせて、全老連の運動を受け、本県で提案された2つの新たな運動「老人クラブ会員増強運動」及び「新)単位クラブ活性化推進運動」の具体的な取り組み内容を説明しました。

その後、参加者同士によるグループ討議に移り、「会員増強をすすめる上で課題や問題点の検証」と「課題解決のため必要な事、方策等」をテーマに話し合いをお願いしたところ、課題や問題点では「名称問題」や「リーダーの不足」、「PR不足」といったものが出されました。これに対し、課題解決のための方策等では、「趣味・サークルを通じた勧誘」や「日帰り旅行や遠足などで勧誘」、「配偶者や親子会員の勧誘」、「婦人会や自治会との連携」などの方策があげられ、また、それぞれ地域における取り組み事例などがあげられるなど、終始熱心な意見交換や情報交換が行われました。

(理事会)



午後からは、第8回理事会を開催、平成26年度の事業計画及び予算をはじめとする諸議題について審議、原案とおり承認されました。

事業計画では、高齢者の増加に伴い、医療や介護、生活支援などのサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められるなか、住民参加の支え合いが不可欠、高齢者同士の支

え合い、地域づくりにおいて、老人クラブが果たす役割はますます大きくなると思われ、そうした期待に応えるため組織の強化を図るとする基本方針のもと、全国三大運動の推進と地域活動の推進、リーダーの養成等を重点に各種事業に取り組むことにしています。

特に、会員増強を柱としながら、健康寿命の延伸を目的とした介護予防活動の推進や、閉じこもりや孤立を防ぐ友愛訪問活動の更なる充実などを通じて老人クラブの存在感を示していきたいとしました。

※平成26年度の詳しい事業計画、予算の詳細は

トップページのメニューボタン

(徳島県老連について) → (情報公開) と進んでください。